

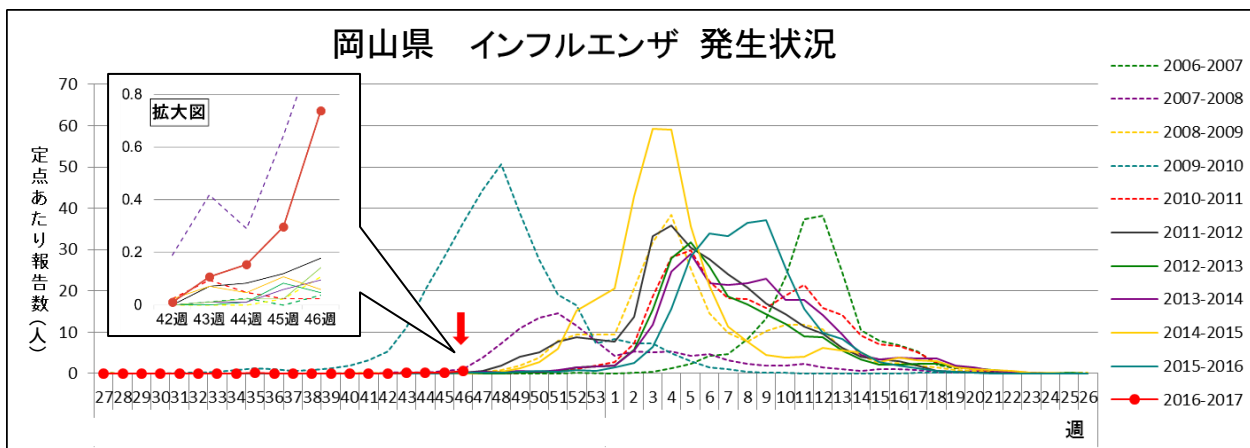
インフルエンザ週報 2016年 第46週 (11月14日～11月20日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で62名(定点あたり0.74人)の報告がありました。(84 定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第47週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が8施設でありました。(11月21日～22日)



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で62名(定点あたり0.30 → 0.74人)の報告があり、前週より大きく増加しました。地域別では、備北地域(5.83人)、美作地域(1.30人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、備北地域と美作地域では、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1.0人」を上まわりました。真庭地域を除く全ての地域で患者の発生がありますが、特に備北地域(0.50 → 5.83人)で、急激に増加しています。インフルエンザの本格的な流行は、通常12月に入ってからといわれますが、第47週にはインフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が8施設でありました。今後の県内の発生状況に注意するとともに、外出後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

[IDWR 速報データ 2016年第45週 \(国立感染症研究所\)](#)

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンは、効果が現れるまで 2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる 12月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

○定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。

定期予防接種対象者

- * 65歳以上の方
- * 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

○定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 流行するウイルスの型は、シーズンにより変わるため、毎年接種する必要があります。

○ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

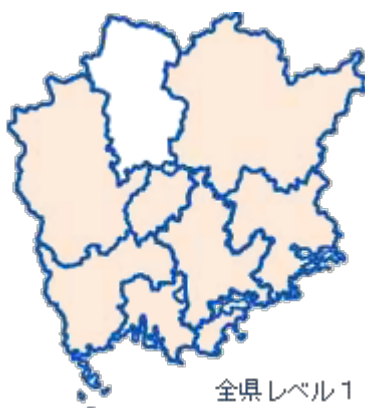
1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	62	↑	備 中	患者数	1	↓
	定点あたり	0.74			定点あたり	0.08	
岡山市	患者数	1	↓	備 北	患者数	35	↑
	定点あたり	0.05			定点あたり	5.83	
倉敷市	患者数	10	↗	真 庭	患者数	0	→
	定点あたり	0.63			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	2	↘	美 作	患者数	13	↑
	定点あたり	0.13			定点あたり	1.30	

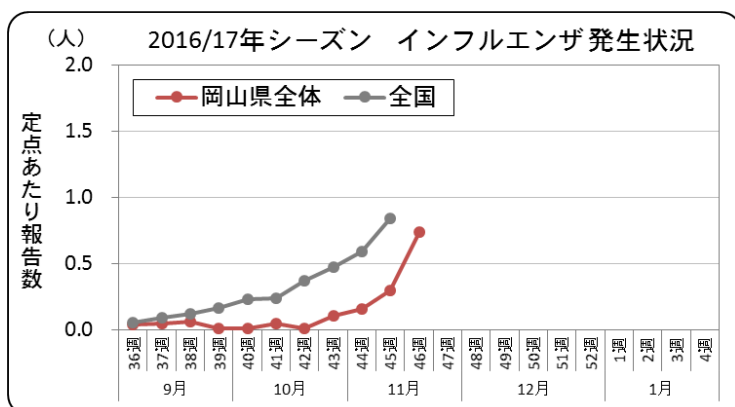
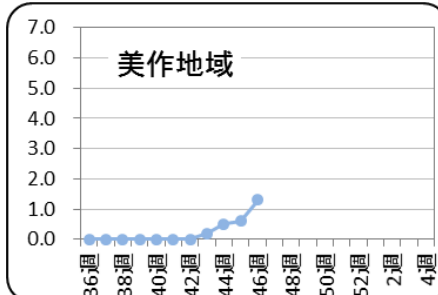
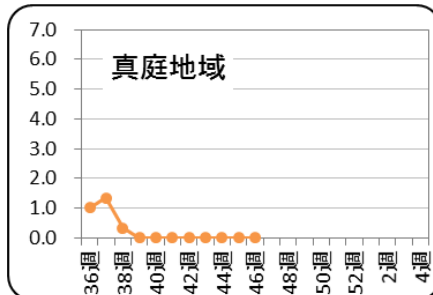
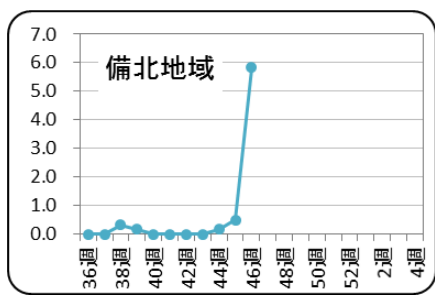
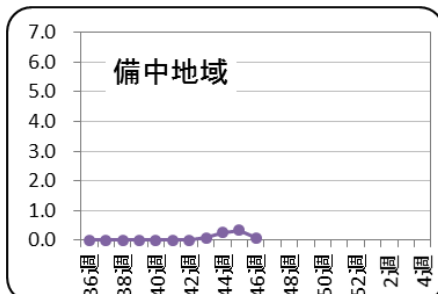
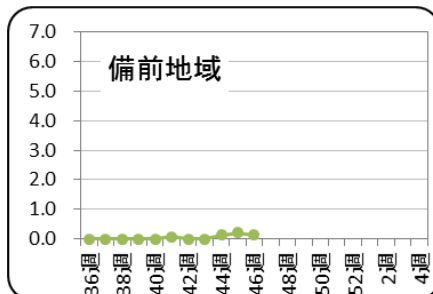
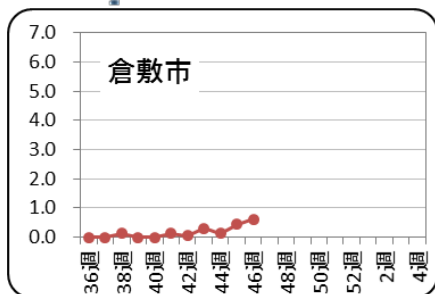
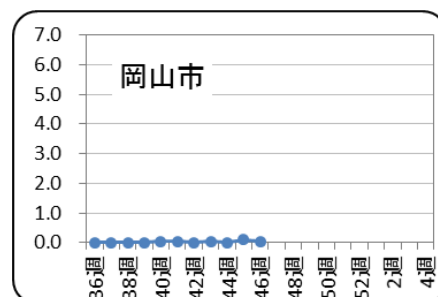
【記号の説明】 前週からの推移
 ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

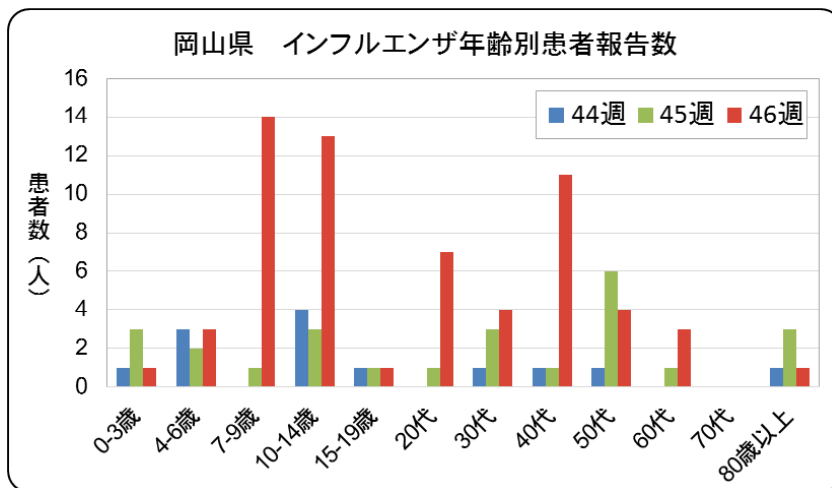
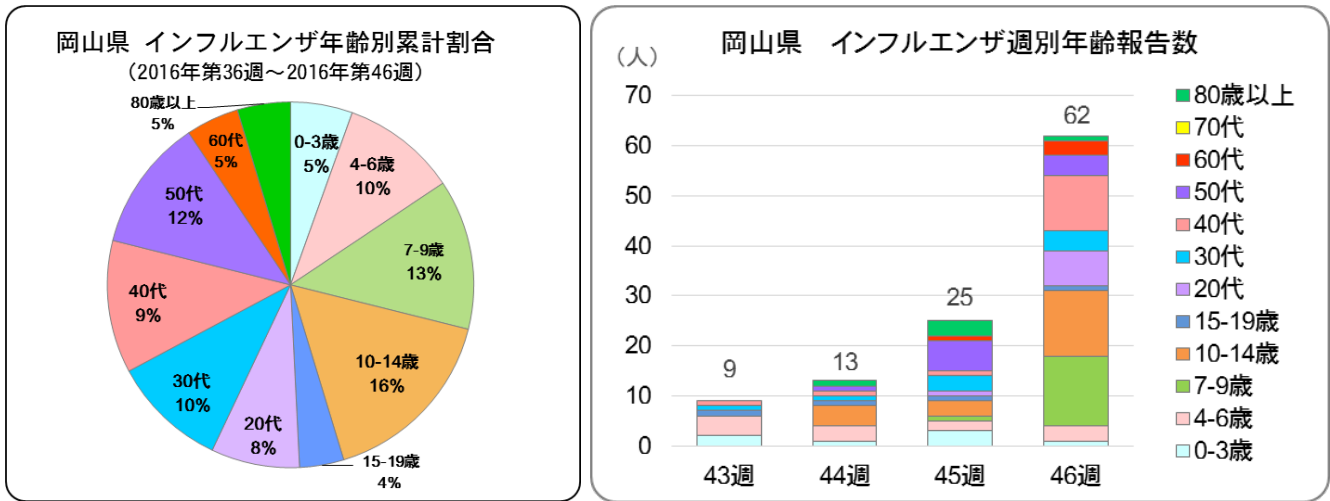
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0



全国集計第45週（11/7～11/13）速報値によると、全国の定点あたり報告数は0.84人となり、前週（0.59人）より増加しました。都道府県別では、沖縄県（7.97人）、栃木県（2.86人）、北海道（1.92人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、39都道府県で前週の報告数より増加しましたが、7県では前週の報告数よりも減少がみられました。

2. 年齢別発生状況

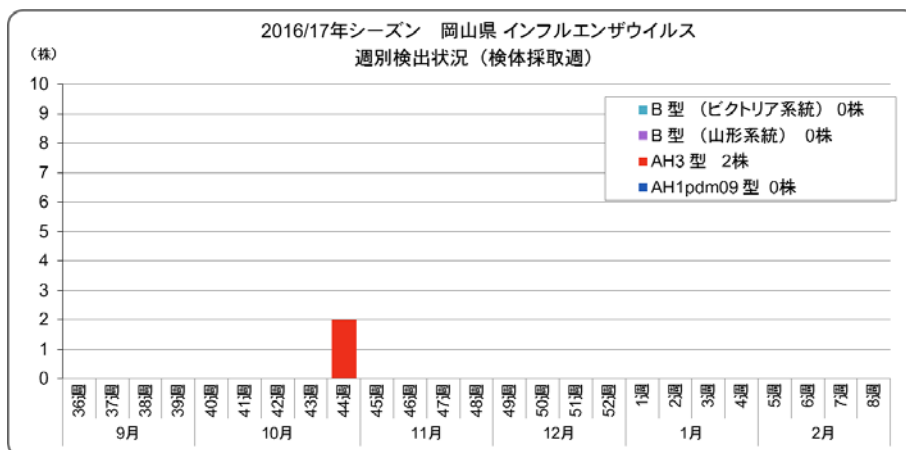
今シーズン（2016/9/5～）の年齢別累計割合は、10-14歳 16%、7-9歳 13%、50歳代 12%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第46週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が2株となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が164株、AH1pdm09型が19株、B型が4株〔ビクトリア系統3株・山形系統1株〕の順となっています。（2016年11月18日現在）

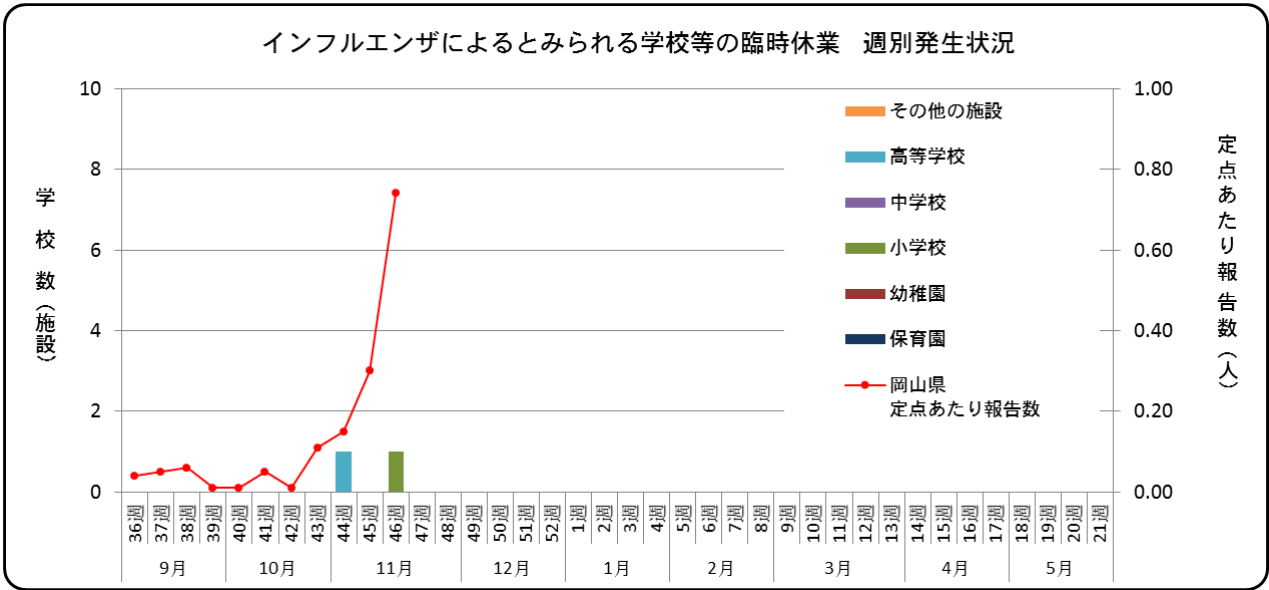


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。

【第46週 臨時休業施設数】

▽津山市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	7	18	7	16	1	2	-	-	1	1	0	1	H28.11.2
岡山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉敷市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備前地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備中地域	0	11	0	9	0	1	-	-	-	-	0	1	H28.11.2
備北地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真庭地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美作地域	7	7	7	7	1	1	-	-	1	1	-	-	H28.11.16

2) 臨時休業施設数の内訳

第46週：1施設

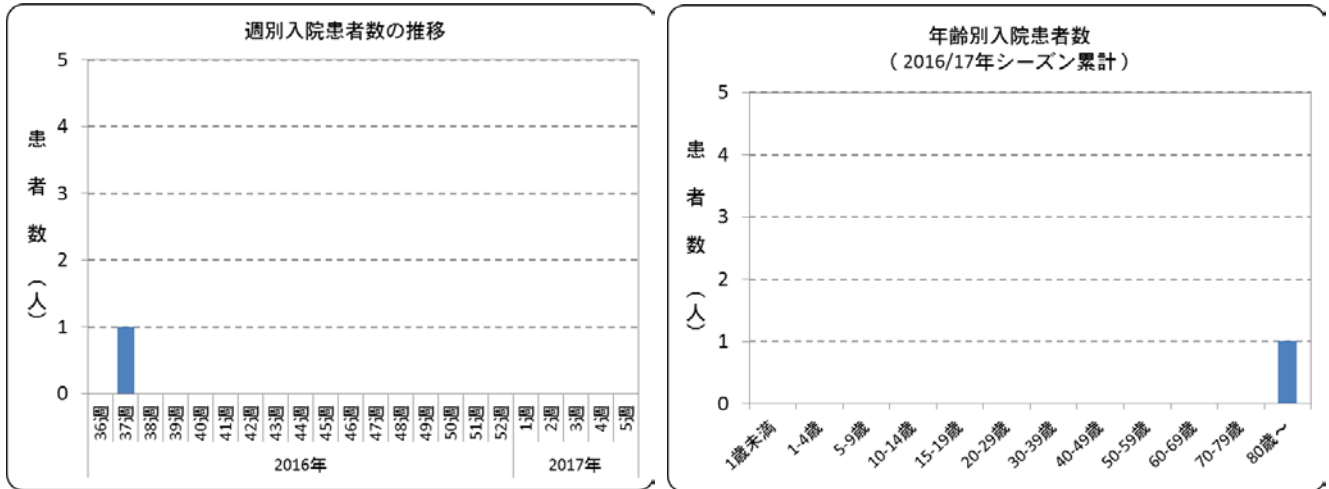
累計：2施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	-	-	-	-	1	1	-	-	0	1	-	-

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【2016年9月5日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数												1	1
ICU入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず												1	1

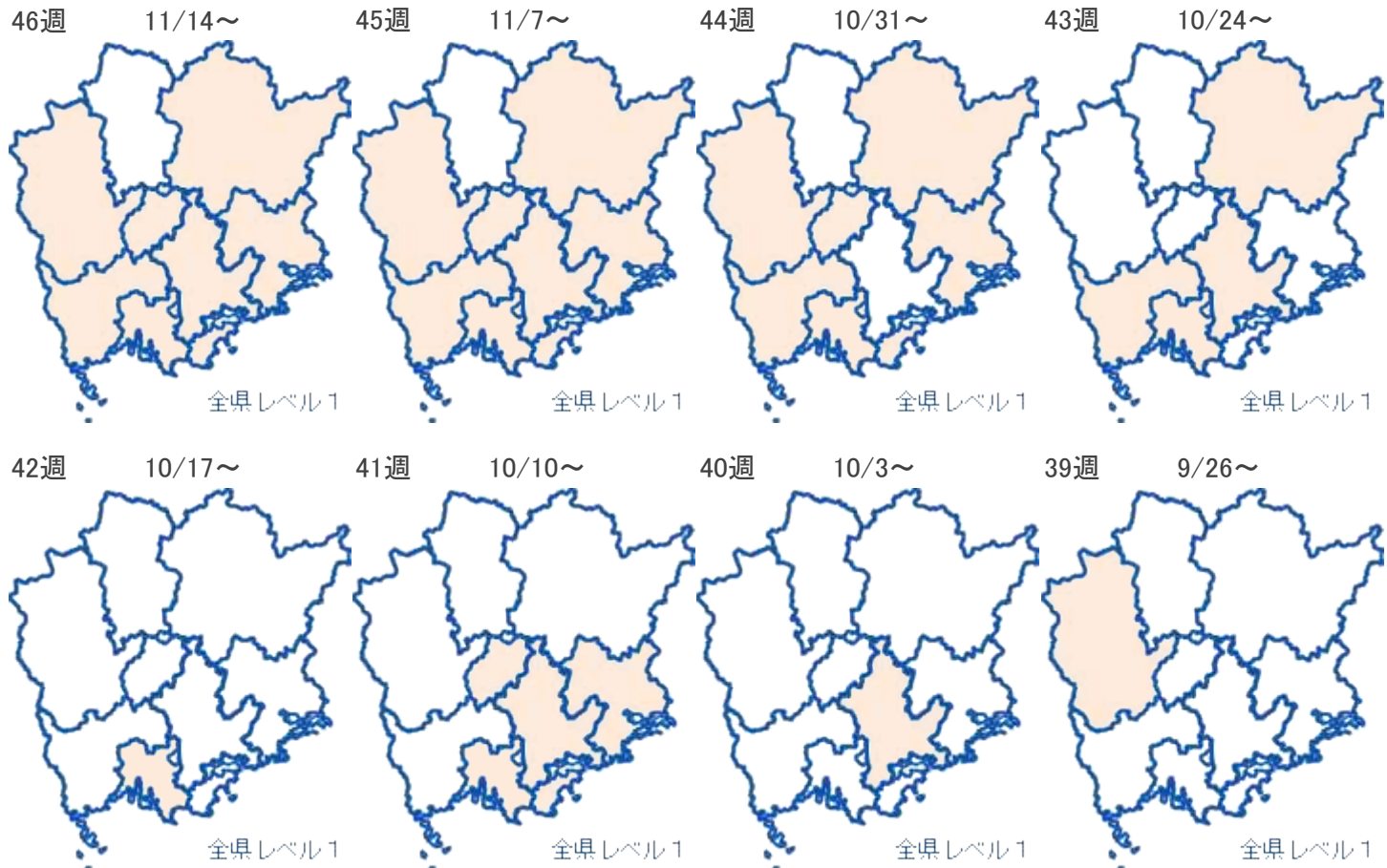
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2016年 46週

2016年11月22日

17:04:37



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。